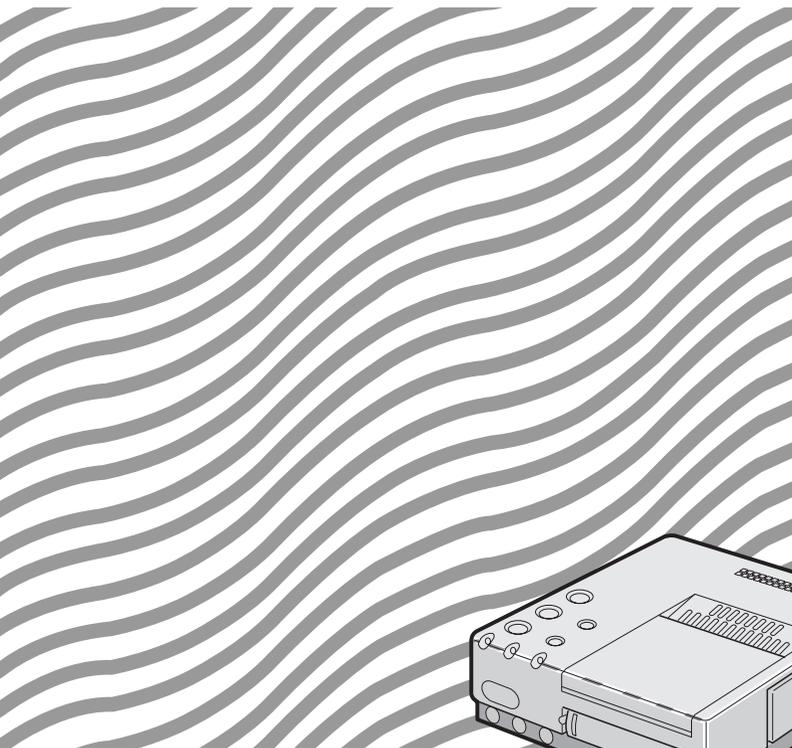


デジタルプリンター

型名 **GV-DT1**



お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要などきにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかを、お確かめください。

安全上のご注意

準備

基本操作編

パソコン編

その他

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

本機をご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

表示の意味は次の通りです。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性があるもの。



絵表示は、注意（警告を含む）が必要であることをお知らせしています。

例)  は「指をはさまれないように注意」



絵表示は、禁止行為であることをお知らせしています。

例)  は「分解禁止」



絵表示は、お守りいただく行為であることをお知らせしています。

例)  は「電源プラグをコンセントから抜くこと」

デジタルプリンターのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

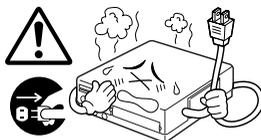
警告

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐ抜く！！

煙が出たり変な音やにおいがするなど異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となります。

このようなときはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

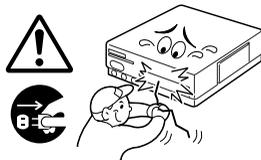
お客様による修理は危険です。絶対におやめください。



異物を入れない、差し込まない 特にお子様にご注意を

火災や感電、故障の原因となります。

本機の給紙トレイ挿入口や通風孔など本機の開口部から金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一異物が入った場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

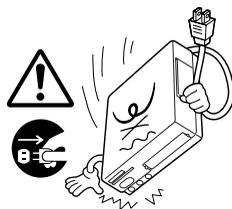


落としたり、キャビネットが壊れたときなどは、電源を切り、電源プラグを抜く

販売店に修理を依頼してください。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。

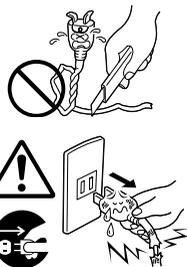


電源コードを大切に

電源コードの上に、重い物をのせたり、熱器具に近づけないでください。電源コードが破損します。

電源コードに傷がつくと火災、感電、故障の原因となります。

電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となります。電源コードが傷んだらすぐに販売店にご連絡ください。電源プラグを抜くときは電源コードを引っばらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。



本機のカバーをはずしたり、改造しない

内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると危険な上、故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店にご依頼ください。

また、本機を改造しないでください。



安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

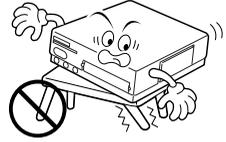
電源はAC100Vを使う

AC100V電源をお使いください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。



本機を不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



本機の上に花瓶やコップを置かない

内部に異物や水や薬品等が入ると火災、感電の原因となります。万一、内部に液体が入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。



付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで再生しない

オーディオ用CDプレーヤーやCDラジカセで付属のCD-ROMを再生しようとすると、過大な信号が流れて、回路やスピーカーに障害を与えることがあります。

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、本機上面、背面に通風孔が設けてあります。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

押し入れ、木箱など風通しの悪い、狭い所に押し込む。
テーブルクロスを掛けたり、じゅうたん、布団、ホットカーベットのの上に置く。

本機を次のような場所には置かない

故障や火災、感電、変形の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。

風通しの悪いところ

本機は風通しのよいところに置いてください。

システムラックに組み込んだときは、必ず本機とラックの間をすきまをあけてください。

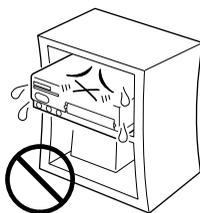
湿気やほこりの多いところ

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

油煙や湯気が当たるような場所はさけてください。

高温になるところ

直射日光が当たる場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。



本機の開口部に指を入れない

給紙トレイ挿入口やインクカセット収納部など本機の開口部に指を入れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。

上にのらない

倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは

長時間の外出や旅行などで本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となることがあります。なお、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続機器とのコードをはずしたことを確認してください。

海外では使用できません

このデジタルプリンターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

< This DIGITAL PRINTER set can not be used in foreign country as designed for Japan only. >

お手入れの際は電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。プラグを差し込んだ状態でのお手入れは、感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。費用については販売店にご相談ください。



使用上のご注意

お願い

水平に置いてください

傾いた状態や不安定な場所で使用することは、本機に悪い影響を与えます。

使用周囲温度、湿度にご注意

周囲温度は5 ～ 35 、湿度は20 % ～ 80 %でお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。

使用環境にご注意

硫化水素、酸化イオウが発生する温泉地や、振動がある場所はさけてください。

本機の上に重い物をのせない

本機の上に重い物を置かないでください。カバーを傷めたり、故障の原因となることがあります。

接続機器について

本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくご覧ください。

プリントペーパー & インクキットについて

プリントペーパー、インクカセットの取扱いにはご注意が必要です。くわしくは「プリントペーパー & インクキット」(19 ページ)をご覧ください。

つゆつきにご注意(本機に水滴がつくことをつゆつきといいます。)

つゆつきした場合はプリントペーパーの表面に湿気や露が付き、印刷品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。つゆつきしたり、つゆつきが起こりそうなときは、電源を入れたまま2時間以上おき、つゆつきの心配がなくなってからご使用ください。給紙トレイが装着されているときは、取りはずしてから電源を入れてください。

つゆつきしたプリントペーパーは正常にプリントできない場合がありますので、新しいペーパーと取り替えてください。

使用上のご注意（つづき）

お願い

つゆつきにご注意（つづき）

つゆつきは次のようなときに起こります。

1. 部屋を急激に暖房したとき
2. エアコンなどの冷風を直接当てたとき
3. 本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき

ゴミやホコリにご注意

プリントペーパーやインクカセットに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画のなかに微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。プリンターを長時間使用しないときは、排紙トレイを閉じ、給紙トレイは取りはずしておいてください。また、インクカセットを取り出し、インクカセット挿入ドアも閉めてください。

ヘッド磨耗について

本機のサーマルヘッドは長時間使用するとビデオヘッドと同じように磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。サーマルヘッドの交換は販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

揮発性のものをかけない、ゴムやビニール製品を長時間接触させない

殺虫剤をかけたリベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり塗料がはげるなどの原因となります。

[化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。] また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により、変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れたときは

本機が汚れたときは柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

引っ越しや輸送のときは

引っ越しや輸送のときは、給紙トレイおよびインクカセットを取りはずしてから梱包してください。(18)、(20)

プリント中のご注意

プリント中に電源を切らないでください。
電源を切るときは、プリント終了後に切ってください。プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

排紙トレイにはプリントペーパーを25枚以上ためない

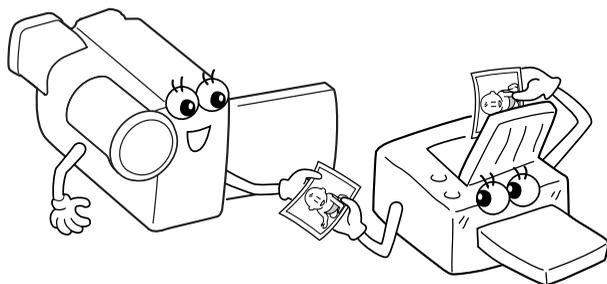
プリント終了後、排出されたプリントペーパーは排紙トレイに25枚以上ためないでください。そのままにしておくと紙づまりの原因となることがあります。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機をテレビやラジオなどに近接してご使用になると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な特長

デジタルビデオムービーからダイレクトプリント

DV端子のあるデジタルビデオムービーとダイレクトに接続し、お好みの場面を手軽にプリントできます。



赤外線画像通信(IrTran-P)でコードレスプリント

赤外線画像通信 (IrTran-P) 規格に準じており、画像通信の分野でさらに互換性を高める規格です。メーカーを越えた将来の拡張性に優れています。

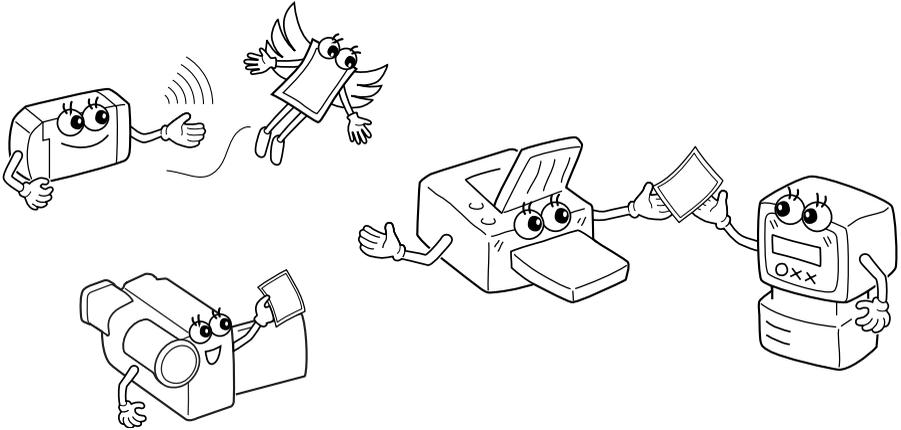
IrTran-P に準拠した各社デジタルスチルカメラからコードレスでプリントできます。



プリンターに記憶した画像をパソコンへ送る

デジタルビデオムービーやデジタルスチルカメラからの画像をプリンターに記憶し、パソコンに取り込むことができます。

付属のMGIフォトスイートまたは市販のペイント系ソフトを使って画像を加工すれば、よりクリエイティブなプリントができます。



もくじ

準備

各部のなまえとはたらき.....	14
接続のしかた	
DV端子付きのデジタルビデオムービーからプリントするとき【DV接続】.....	16
IrTran-P対応のデジタルスチルカメラからプリントするとき【IrDA受信】.....	17
インクカセットの取り付けかた.....	18
プリントペーパー&インクキット（別売）について.....	19
給紙トレイの取り付けかた.....	20
プリントの準備.....	21

基本操作編

デジタルビデオムービーからプリントする【DV接続】.....	22
デジタルスチルカメラからプリントする【IrDA受信】.....	24
官製はがきにプリントしたあとは.....	26

パソコンプリンター編

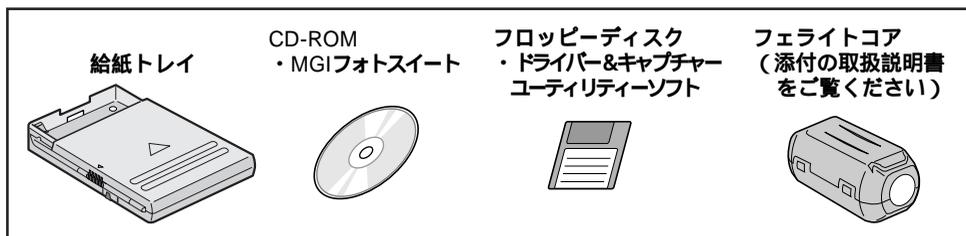
はじめに	
対応機種・動作環境・付属品以外に必要なもの.....	28
ソフトウェア詳細.....	29
接続のしかた	
パソコンからプリントするとき.....	30
ソフトのインストール	
Windows®対応パソコンへのインストール.....	31
起動と終了.....	32
各部の機能と操作.....	34
プリントの手順.....	37
パソコンへの画像取り込み.....	38
パソコンからプリントする.....	39
設定ダイアログ画面の働き.....	40
スプーラ画面の働き.....	41

その他

こんなときは

ランプ表示について.....	42
デジタルプリンター編.....	45
パソコンプリンター編.....	46
故障かな?と思ったら.....	48
紙づまりがおきたときは.....	49
サービス窓口案内.....	50
主な仕様.....	52
保証とアフターサービス.....	53

付属品



著作権について

あなたが、テレビ放送や録画物などからプリントしたものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上の権利者に無断で使用できません。

説明書に出てくるマークは



は知っていると便利な操作や説明です。



は正しくお使いいただくためのご注意です。



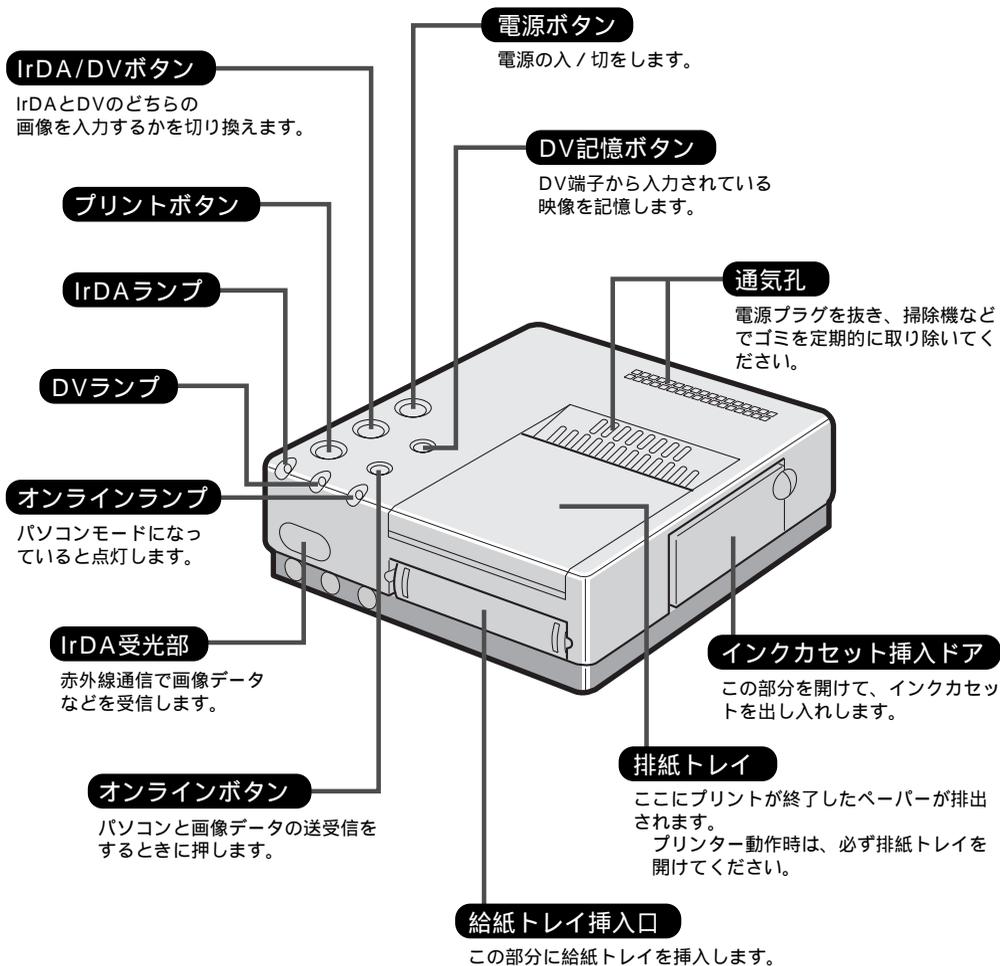
はその数のページをあわせてご参照ください。

本ソフトウェアは、IrDA 赤外線通信部にオカヤシステムウェア株式会社が権利を有するプログラムを使用しています。

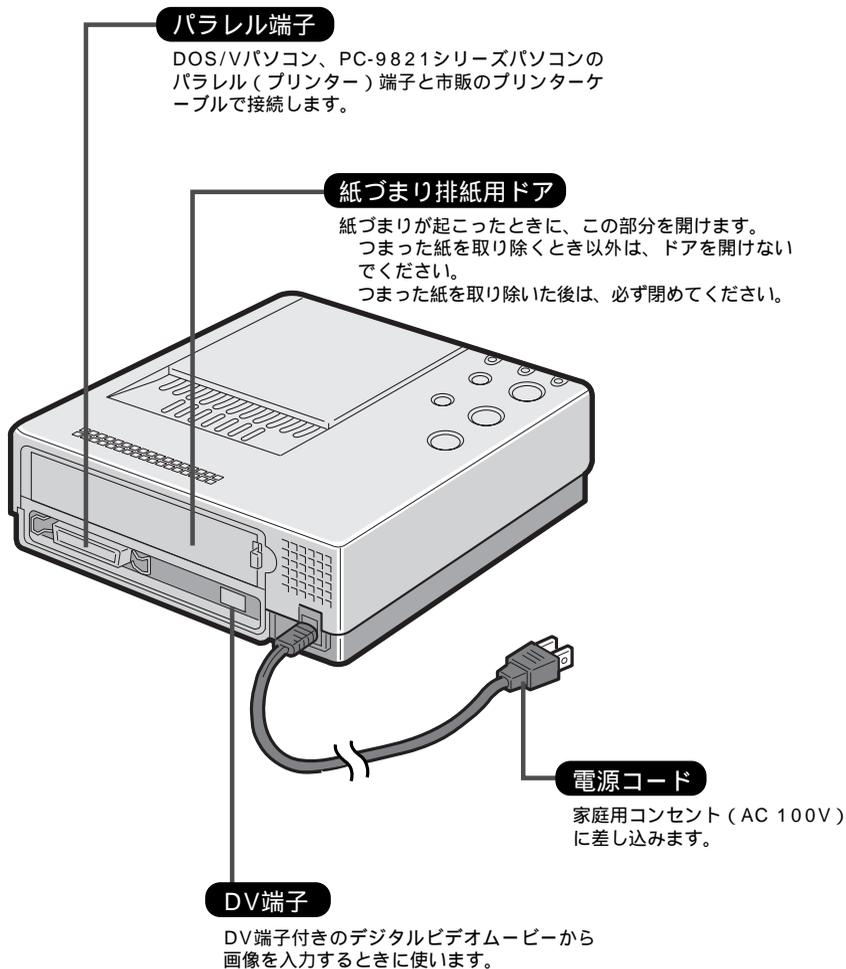
IrDA Protocol Stack 「Deep Core™」 Okaya Systemware Co., LTD.

各部のなまえとはたらき

本体前面



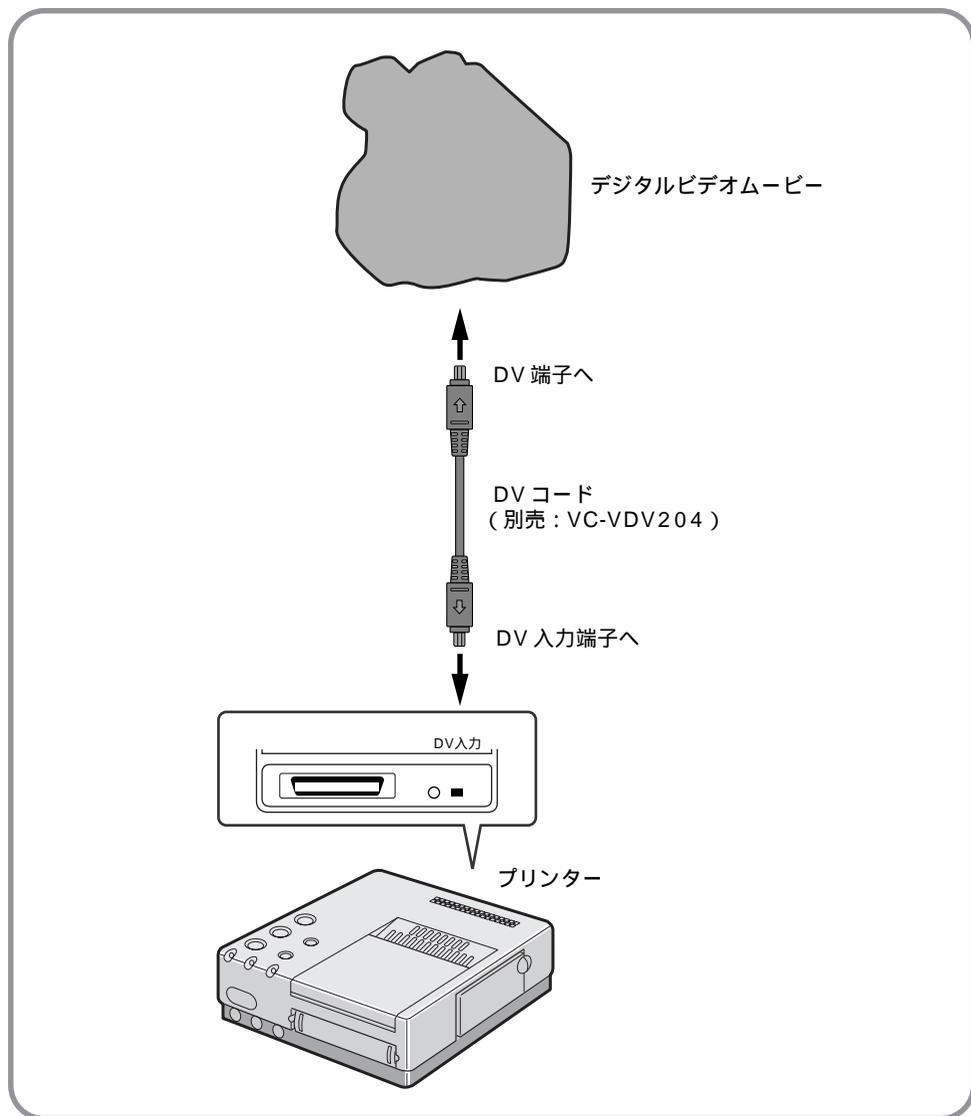
本体背面



接続のしかた【DV接続】

本機の電源プラグは異常が発生したときに、すぐに抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。また、プリンターの電源プラグは、テレビやビデオなどの電源コンセントとは、別のコンセントに差し込んでください。

DV端子付きのデジタルビデオムービーからプリントするとき

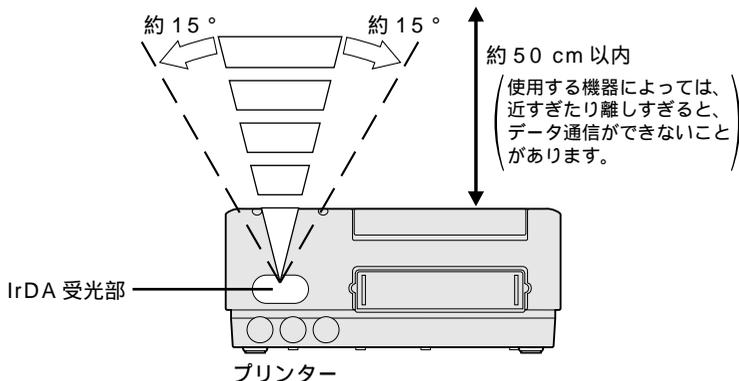
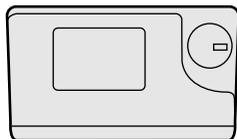


接続のしかた【IrDA受信】

IrTran-P対応のデジタルスチルカメラからプリントするとき

IrTran-P (Infrared Transfer Picture) :
赤外線画像データ通信の規格で、これに準じた
機器は、メーカーの区別なく赤外線による画像
通信を行うことができます。

IrTran-P 対応
デジタルスチルカメラ



準備



IrDA赤外線通信による画像データの送受信は、
送り側と受け側が1:1でなければなりません。

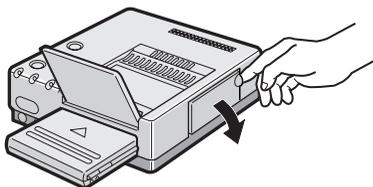
1台のデジタルスチルカメラから複数のデジタルプリンターに画
像を送っても、最初に対応した1台のデジタルプリンターだ
けが、画像データを受信してプリントする仕組みになってい
ます。

インクカセットの取り付けかた

プリントするために別売のプリントペーパー&インクキットのインクカセットを取り付けます。

1 ドアを開ける

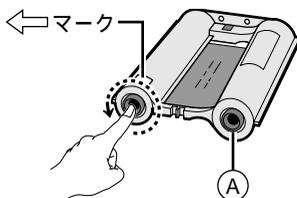
ドア右上部を矢印方向に引いてドアを開けます。



2 インクカセットのたるみを取る

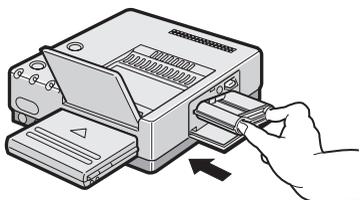
←マークがある方のローラーを矢印方向に回転させます。

Ⓐ部分は回さないでください。



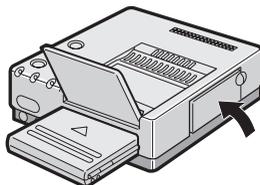
3 インクカセットを取り付ける

型名などが印刷されている面を上にし、←マークを奥にして、インクカセットを‘カチッ’と音がするまで差し込みます。



4 ドアを閉める

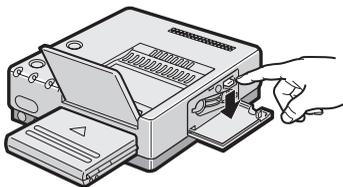
ドア右部分を押し閉めます。ドアが確実に閉まると‘カチッ’と音がします。



インクカセットを取りはずすときは

レバーの部分を矢印方向に押します。

ロックはずれ、インクカセットが取りはずせる状態になります。



⚠注意

インクカセット収納部に指を入れないでください。やけどやけがをする恐れがあります。

プリントペーパー&インクキット（別売）について
本機でプリントするときは必ず以下の専用品をお使いください。

商 品	セット内容	用 途
PV-50SF (標準紙用)	・標準紙（A6判）50枚 ・インクカセット 50枚ぶん	お気に入りの場面をプリントして記念写真がわりに。 はがきとしても使用できます。
PV-25SFS (分割シール紙用)	・1画面シール紙（A6判）15枚 16分割シール紙（A6判）10枚 ・インクカセット 25枚ぶん	オリジナルのシールを作ってカードなどに貼ることが できます。
PV-25SFC (官製はがき用)	・インクカセット 25枚ぶん ・クリーニングペーパー 1枚	年賀状などの官製はがきに直接プリントします。 クリーニングペーパーの使い方は 26 ページを ご覧ください。

官製はがきにプリントした場合、標準紙やシール紙に比べて画質が劣ります。

本機には、画像を16分割できる機能はありません。

16分割シール紙を使用するためには、デジタルスチルカメラやアプリケーションソフトなどに16分割機能がな
いと、16分割画像のプリントはできません。

また、シール紙にプリントすると、印刷位置がずれることがあります。

プリントペーパー&インクキットについては、次の点にご注意ください。

プリント前のご注意

PV-25SFCのインクカセットでは、PV-50SFまたはPV-25SFSのプリントペーパーにはプリントできません。
折れたり、曲がったり、そったりしたプリントペーパーは使用しないでください。紙づまりや故障の原因
になります。

濡れたり、湿ったりしているプリントペーパーは絶対に使わないでください。正常にプリントできません。

また、紙づまりや故障の原因になります。

インクカセットのインクシートを指で触れたり、引き出したりしないでください。

インクカセットのインクシートを小さなお子様などがなめないようにご注意ください。

インクカセットを使い切ったときは、新しいものと交換してください。使い切ったインクカセットは使用
できません。巻き戻しての再使用はしないでください。

プリントペーパー&インクキットは高温多湿、直射日光の当たる場所を避けてください。

プリントペーパー（PV-50SF）は片面が筆記面になっています。

プリントペーパー（PV-50SF）や官製はがきに文字等を記入したり、切手等を貼る場合は、プリント後
に記入、張り付けを行ってください。プリント前に記入、張り付けを行うと正常にプリントできない場合
があります。

プリントペーパー&インクキットの裏面に記載している注意文もよくお読みのうえ、ご使用ください。

プリント後のご注意

プリントされたペーパーを湿った手で持つと変色することがあります。

ペーパーが揮発性有機溶剤（アルコール・トルエン・ケトン類など）を吸収すると画像が退色します。

特にセロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると化学反応で退色が早くなります。

プリントペーパー（PV-50SF）への文字等の記述は、鉛筆が油性の筆記具をお使いください。また、筆
記の際に強く書くと、ペーパーに筆記の跡が付く場合があります。

保管上のご注意

プリント後のペーパーはなるべく高温多湿、直射日光の当る場所や暖房器具のそばを避けて保管してください。
軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で退色したり、プリント面の色がはがれ、
ファイルなどに付着することがあります。

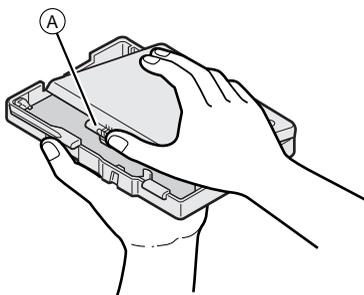
プリントされた面どうしを重ねたまま、放置しないでください。プリントペーパーがくっつく場合があります。

プリントペーパーは箱に入れた状態でペーパーが水平になるように保管してください。垂直に置いて保管
するとペーパーが曲がり、プリント時に紙づまりの原因となります。

給紙トレイの取り付けかた

給紙トレイのフタの開けかた

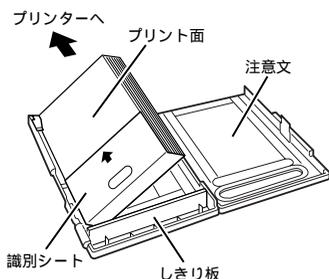
① 部分を押しながら開けてください。



給紙トレイへのペーパーの入れかた

標準紙・シール紙の場合

しきり板を起こしてください。
ペーパーに識別シートをつけたままプリンター面を上にして入れてください。

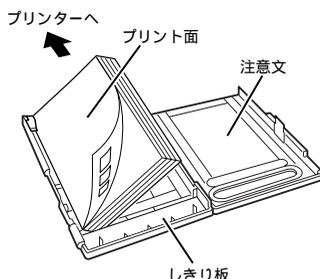


しきり板：起こす
挿入枚数：最大25枚

しきり板を起こす場合は、給紙トレイの裏から押してください。

官製はがきの場合

しきり板を倒してください。
郵便番号欄を手前、下向きにして入れてください。



しきり板：倒す
挿入枚数：最大15枚

官製はがき以外は使用しないでください。

ペーパーは、1枚づつはなれるように、よくさばいてから入れてください。
識別シートに記載されている注意文や、給紙トレイのフタの裏に記載されている「プリントペーパー挿入時のご注意」もよくお読みください。

給紙トレイの取り付け/はずしかた

取り付けるときは、‘カチッ’と音がするまで差し込んでください。

はずすときは、給紙トレイを1度押してロックを解除してから引き出してください。

プリントの準備

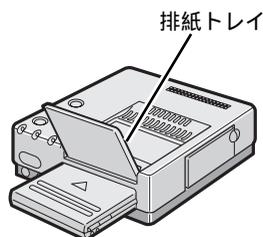
プリントする前に、次の準備をおこなってください。

1 プリントペーパー&インクキット（別売）を用意します。（**19**）

2 インクカセットをプリンターに取り付けます。（**18**）

3 給紙トレイにプリントペーパーを入れ、プリンターに取り付けます。（**20**）
プリントするペーパーは、インクカセットと同じ箱のものをお使いください。

4 排紙トレイを開きます。



5 プリントする映像機器をプリンターに接続します。（**16**）

6 プリンターの電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押します。
電源ランプが点灯し、電源が入ります。

準備はここまでです。

22 ページから **25** ページを
よくお読みの上、プリントしてください。

デジタルビデオムービーからプリントする【DV接続】

準備

16 ページをご覧ください、接続してください。

1 ムービーを再生モードにする

お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

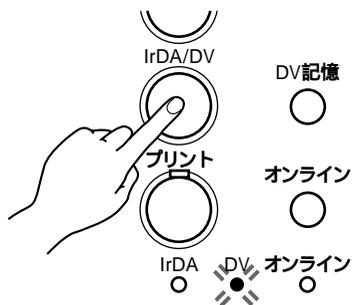
2 プリンターのIrDA / DVボタンを押して、DVランプを点灯させる

DVランプが

点滅中：画像データをプリンターが受信しています。

点灯中：画像データを受信していません。

16 ページをご覧ください、接続を確認してください。



3 プリントしたい場面になったらムービーを静止画再生状態にする

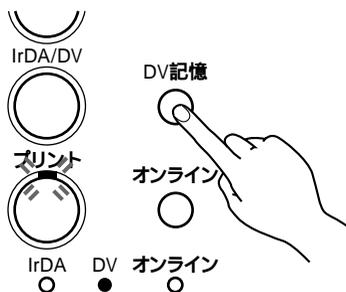
4 プリンターのDV記憶ボタンを押す

プリントしたい画像が記憶されます。

画像データ変換中は、プリントランプが点滅します。(約40秒間)



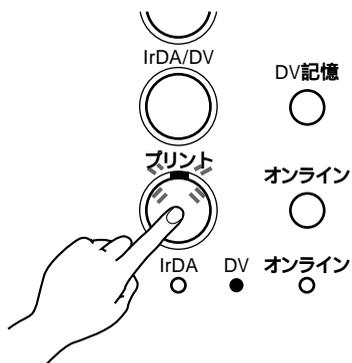
記憶した画像をパソコンに転送したいときは、38 ページの「パソコンへの画像取り込み」をご覧ください。



5

プリントランプが点滅から点灯に変わったら、
プリンターのプリントボタンを押す

プリントランプが点滅し、プリントが始まります。
プリントペーパーが排出され、プリントランプが点灯したらプリント終了です。



同じ画像をプリントしたいときは、プリント終了後、もう一度**プリントボタン**を押します。
プリントボタンを押す度に、1枚ずつプリントされます。
別の画像をプリントするときは、3～5の操作を繰り返します。

デジタルスチルカメラからプリントする【IrDA受信】

IrTran-P対応のデジタルスチルカメラを使用する場合は、付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

準備

画像の記憶だけしたいとき	プリントしたいとき
プリンターから給紙トレイをはずしておきます。	プリントペーパーを入れた給紙トレイをセットします。 デジタルスチルカメラから画像データを送信すると、自動的に1枚プリントされます。

1 プリンターのIrDA / DVボタンを押して、IrDAランプを点灯させる

2 デジタルスチルカメラ側でプリントしたい画像を記憶する
お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

3 デジタルスチルカメラの画像をプリンターへ転送する

デジタルスチルカメラのIrDA送光部をプリンターのIrDA受光部の正面に向けます。デジタルスチルカメラ側から画像データを送信します。

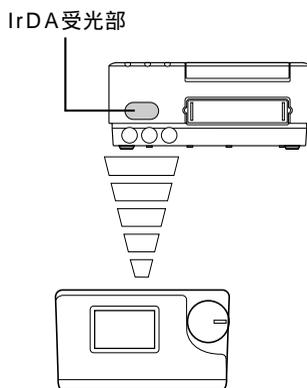
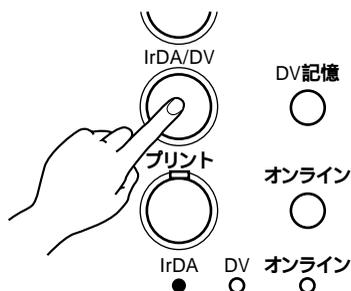


操作方法については、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

給紙トレイをはずしている場合、DVとオンラインランプが点滅します。オンラインボタンを押してオンラインランプを点灯させると、点滅は解除します。記憶した画像をパソコンに転送したいときは、38ページの「パソコンへの画像取り込み」をご覧ください。

自動的にプリンターへ画像が転送され、転送終了後、自動的に1枚プリントします。

転送が終わると、IrDAランプが点滅から点灯に変わります。プリントペーパーが排出されプリントランプが点灯したらプリント終了です。



デジタルスチルカメラからプリントするまでの流れ

デジタルスチルカメラ側から画像データを送信すると、自動的にプリントしたい画像がプリントされます。プリントが終了するまでのランプの点灯 / 点滅条件は次のようになります。

- ① デジタルスチルカメラから
プリンターへ画像データを
転送中



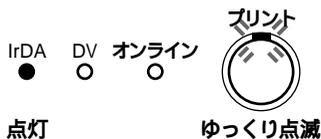
- ② 転送終了後、プリンター側で
画像データを変換中

使用する機器または、画像のデータ量によって、数分かかる場合があります。



- ③ データ変換終了

給紙トレイをセットしていると、自動的に
プリントを始めます。



- ④ プリント終了



プリントランプ点灯中は、画像データが記憶されています。プリントボタンを押す度に、同じ画像を1枚ずつプリントできます。
別の画像をプリントするときは、左ページの ② ③ の操作をしてください。
外光の影響、電池の消耗状況、通信距離、送信 / 受信する角度などによって、通信が不安定になり、通信できないことがあります。

官製はがきにプリントしたあとは

紙粉が出ることがありますので、官製はがき専用インクカセットに付属しているクリーニングペーパーを使ってクリーニングしてください。

(目安として25枚ごと)

《ご使用方法》

1. クリーニングペーパーの保護シートをはがす。
2. 保護シート面を上にし、給紙トレイの奥に当たるように入れて、必ずツメの下に入れる。残っているペーパーがあれば、すべて取り出してください。
(ツメの上に入れると故障の原因となります。)

3. 給紙トレイをプリンターに取り付ける。

4. 画像を記憶する。

記憶する画像は何でもかまいません。

・DV接続の場合 : 22ページの①～⑤の操作をしてください。

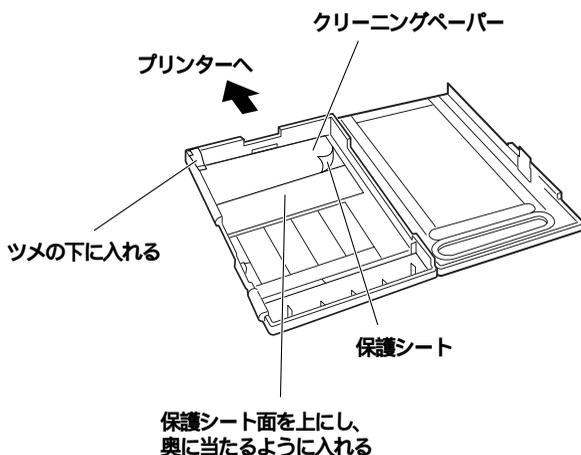
・IrDA受信の場合 : 24ページの①～③の操作をしてください。

クリーニング中はプリントランプが点滅し、終了するとDVとオンラインランプが点滅します。

5. 給紙トレイを取りはずし、クリーニングペーパーを取り出す。

6. プリントしたいペーパーを入れ、給紙トレイを取り付ける。

これで、クリーニングは終了です。



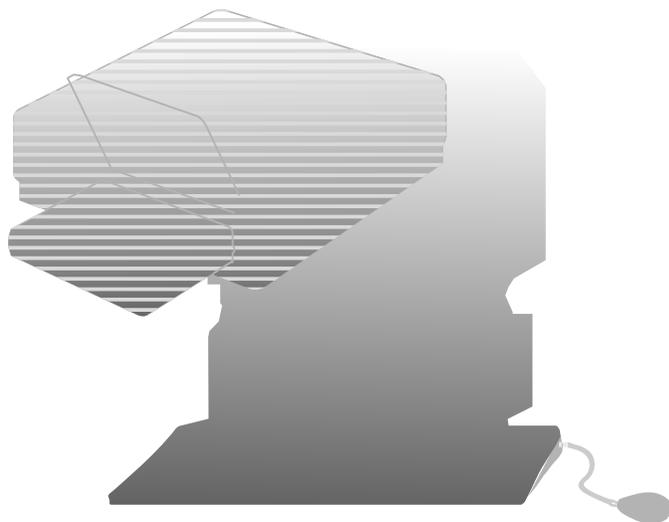
パソコン プリンター編

readme.txtファイルには、セットアップに関する追加の情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。

付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。

<www><http://www.jvc-victor.co.jp/>

画像を加工したいときは、付属のMGIフォトスイートのアイディアガイドをご覧ください。





はじめに

対応機種

- DOS/Vパソコン 25ピンプリンタコネクタで、双方向パラレルインターフェースを装備している486DX2以上のCPU搭載機種
- PC-9821シリーズ 36ピンプリンタコネクタで、双方向パラレルインターフェースを装備している486DX2以上のCPU搭載機種（ハイレゾ機を除く）

動作環境

Microsoft® Windows® 3.1、Microsoft® Windows® 95のいずれかで、日本語が動作しているパソコン

Microsoft®、Windows®は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

RAM容量16 MB以上

ハードディスク空き容量8 MB以上

640×480ドット、256色以上の表示が可能なカラーディスプレイ

マウス（パソコン本体に接続可能で、Windows®に対応したマウス）

3.5インチ1.44 MBのフロッピーディスクが読めるフロッピーディスクドライブ

CD-ROMドライブ

パラレル通信ポートで双方向セントロニクスインターフェースを装備したもの

付属品以外に必要なもの

市販のプリンターケーブル（3m以下）が必要です。

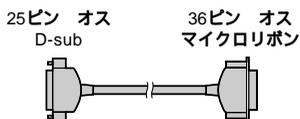
DOS/Vパソコンは、「全ピン結線」に対応しているケーブルを使用してください。

PC-9821シリーズでは、NEC製のPC-CA202または同等品のケーブルを使用してください。

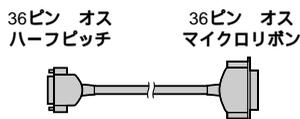
パソコンによってはプリンターケーブルの形状が異なるため、販売店にご確認の上、購入してください。

（例）

DOS/Vをお持ちのかたは



PC-9821をお持ちのかたは



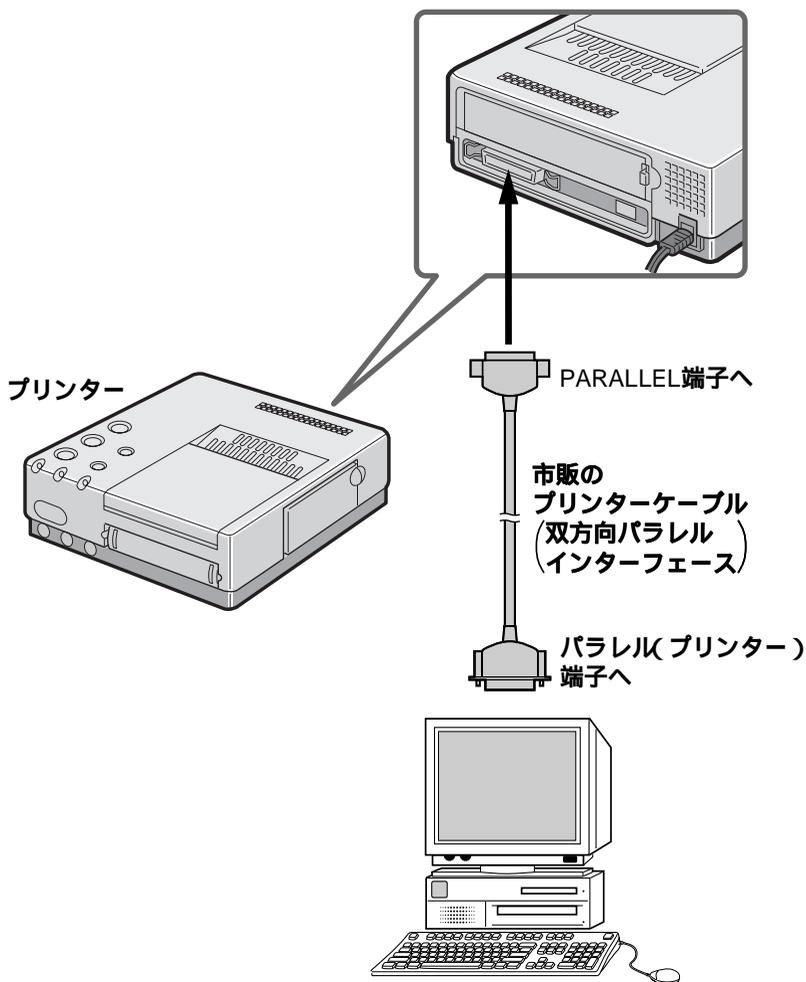


接続のしかた

本機の電源プラグは、異常が発生したときに、すぐ抜けるような場所にあるコンセントに差し込んでください。また、プリンターの電源プラグは、テレビやビデオの電源コンセントとは別のコンセントに差し込んでください。

パソコンからプリントするとき

各機器の電源を切った状態で接続してください。





ソフトのインストール

Windows®対応パソコンへのインストール

Windows®の基本操作については、Windows®またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

Windows®95の場合

1. Windows®95 を起動する
もし他のソフトを使用されている場合は、終了させてください。
2. 「ドライバー&キャプチャーユーティリティーソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入する
3. デスクトップ上のマイコンピュータのアイコンをダブルクリックする
4. フロッピーディスクのアイコンをダブルクリックする
SETUPアイコンを表示します。
5. SETUPアイコンをダブルクリックする
インストールが始まります。
画面に表示される指示に従ってください。
ソフトウェア製品使用許諾契約書にご同意いただける場合は [Yes]、ご同意いただけない場合は [No] を選択してください。 [No] を選択すると中止します。
6. [再起動する] ボタンをクリックする
Windows®が一度終了し、再起動します。
これでインストールは完了です。

Windows®3.1の場合

1. Windows®3.1 を起動する
もし他のソフトを使用されている場合は、終了させてください。
2. 「ドライバー&キャプチャーユーティリティーソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入する
3. Windows®の画面から [メイン] グループの [ファイルマネージャー] を起動させる
4. フロッピーディスクドライブを指定する
setup.exeファイルを表示します。
5. setup.exeファイルをダブルクリックする
インストールが始まります。
画面に表示される指示に従ってください。
ソフトウェア製品使用許諾契約書にご同意いただける場合は [Yes]、ご同意いただけない場合は [No] を選択してください。 [No] を選択すると中止します。
6. [再起動する] ボタンをクリックする
Windows®が一度終了し、再起動します。
これでインストールは完了です



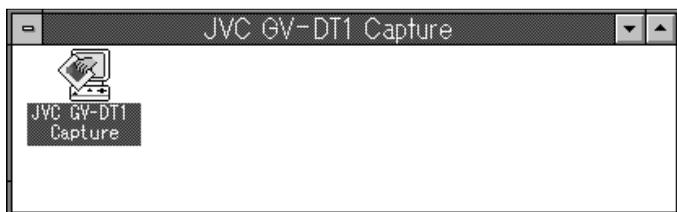
起動と終了（操作の基礎知識）

起動のしかた

本製品はWindows®の標準的な手順で起動することができます。手順はWindows®3.1とWindows®95では異なります。

Windows®3.1での標準的なアプリケーションの起動方法は以下のようになっています。

1. プログラムマネージャーでアプリケーションのグループアイコンを開き、その中にあるアプリケーションアイコンをダブルクリックする。
2. プログラムマネージャーで [アイコン] メニューの [ファイル名を指定して実行] を選び、アプリケーションのファイル名を指定して [実行] ボタンをクリックする。
3. ファイルマネージャーでアプリケーションのファイル名をダブルクリックする。
1がもっとも簡単な起動方法といえるでしょう。



Windows®95ではタスクバーの[スタート]ボタンをクリックするとメニューが表示され[プログラム]項目にマウスポインターを置き、表示されるメニューから起動します。

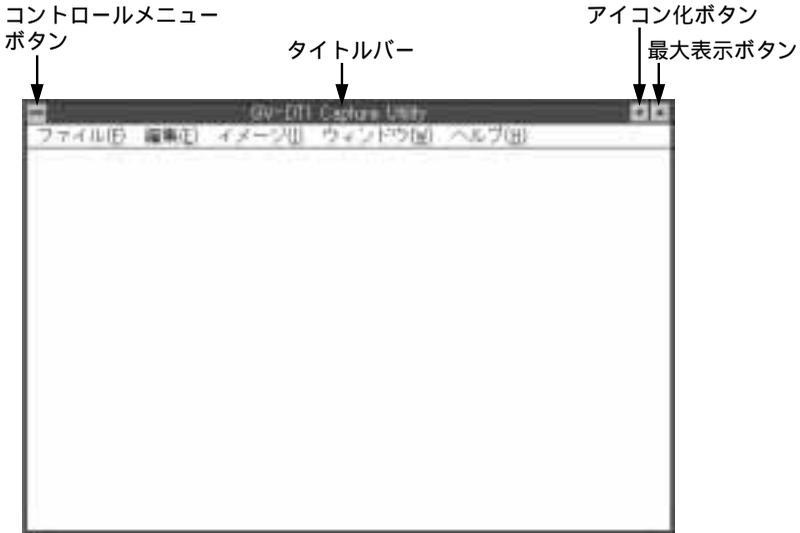


では、起動してみましょう。

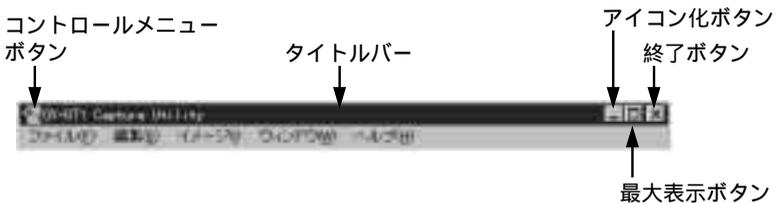
Windows®3.1でご利用の場合は、プログラムマネージャーでJVC GV-DT1 Captureグループを開き、JVC GV-DT1 Captureアイコンをダブルクリックしてください。

Windows®95でご利用の場合は、スタートメニューから [JVC GV-DT1 Capture] を起動してください。

初めて起動したときWindows®3.1では次のように表示されます。



Windows®95ではタイトルバー、メニューバーなどの表示が若干異なります。



終了のしかた

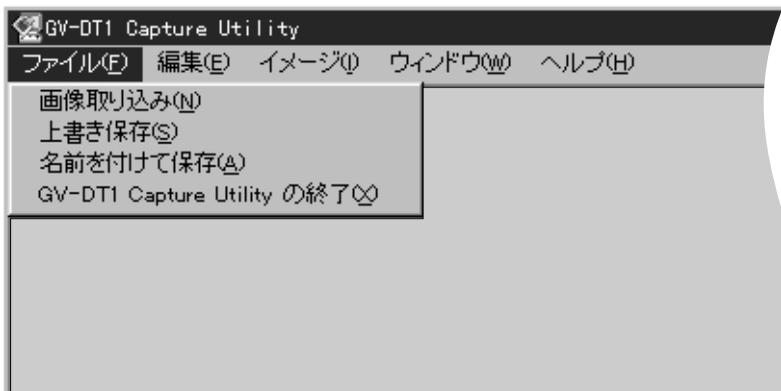
終了したいときは、Windows®3.1ではコントロールメニューボタンをダブルクリックするか、「ファイル(F)」メニューの「GV-DT1 Capture Utility の終了(X)」をクリックしてください。

Windows®95では終了ボタンをクリックしてください。



各部の機能と操作

メニューバー

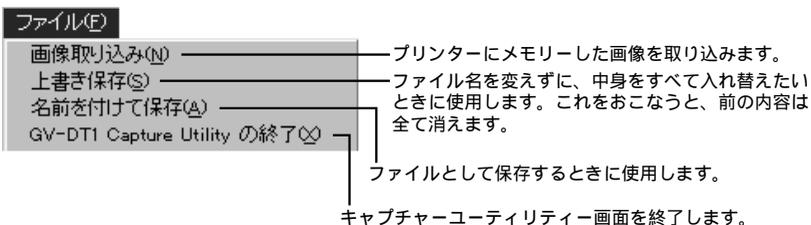


メニューバーには本製品の各機能を実行するためのメニューが定義されています。

メニューバー上の各メニュー項目をクリックすると、それぞれのメニューが開きます。実行したい機能のメニュー項目をクリックすると、その機能が実行されます。

機能によっては、そのときの状態により実行できないものがあります。実行できない機能のメニュー項目は表示が薄くなります。

各メニューは、次のような構成になっています。

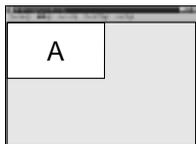


編集(E)

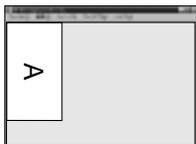
元に戻す(Z)
コピー(C)
時計回りに90°回転(9)
反時計回りに90°回転(0)
画像サイズの変更(S) ▶
カラーモードの変更(C) ▶

1つ前の状態に戻します。
クリップボードにコピーします。モニター設定時の表示色でコピーされます。
右に90°の回転をおこないます。
左に90°の回転をおこないます。
取り込んだ画像を1/4または1/16サイズにします。
取り込んだ画像の色数(階調数)を変更します。

取り込んだ画像



時計回りに90°



反時計回りに90°



元の画像に戻したいときは [元に戻す] をクリックしてください。1つ前の状態に戻ります。

編集(E)

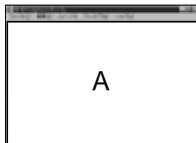
元に戻す(Z)
コピー(C)
時計回りに90°回転(9)
反時計回りに90°回転(0)
画像サイズの変更(S) ▶
カラーモードの変更(C) ▶

画像サイズ変更後、元の画像サイズに戻したいときは [元に戻す] をクリックしてください。1つ前の状態に戻ります。ただし、続けて画像サイズを変更したときは、元の画像サイズに戻りません。

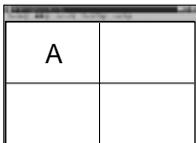
640x480->320x240
640x480->160x120

現在の画像を1/4サイズにします。
現在の画像を1/16サイズにします。

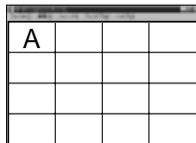
取り込んだ画像



1/4



1/16



編集(E)

元に戻す(Z)
コピー(C)
時計回りに90°回転(9)
反時計回りに90°回転(0)
画像サイズの変更(S) ▶
カラーモードの変更(C) ▶

256色カラー
グレースケール

フルカラー画像から256色の画像に変更します。
白黒画像にします。

イメージ(I)

800%
400%
200%
100%
50%
25%

取り込んだ画像を、お好みの倍率で表示します。



各部の機能と操作(つづき)

ウィンドウ(W)

並べて表示(T)
重ねて表示(C)
アイコンの整列

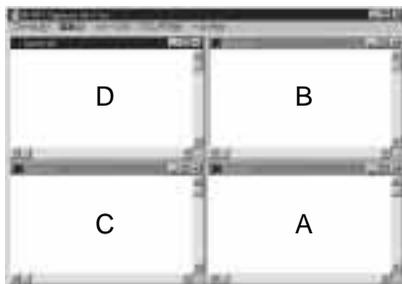
取り込んだ画像を並べて表示します。最大4コを並べて表示します。
取り込んだ画像を重ねて表示します。最大4コを重ねて表示します。
アイコン化した表示を並べて表示します。

- 1 Capture1
- 2 Capture2
- 3 Capture3
- ✓ 4 Capture4

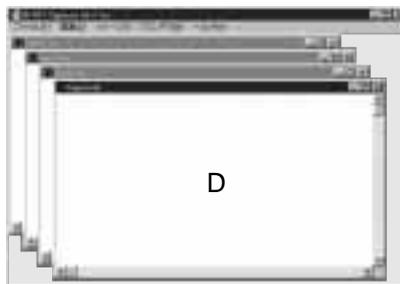
取り込んだ画像の管理名称No.です。

4コのキャプチャーの中で、不要なキャプチャーを除いた場合、次に取り込んだキャプチャー管理名称No.は、カウントアップされます。

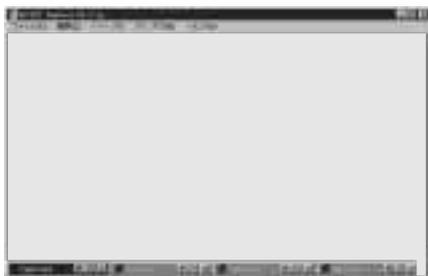
・並べて表示



・重ねて表示



・アイコンの整列



ヘルプ(H)

目次☺

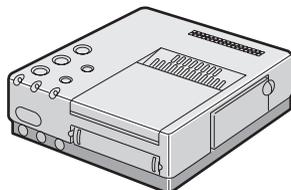
GV-DT1 Capture utility について(A)

ヘルプについての目次を表示します。
バージョンを表示します。



プリントの手順

1. プリンター側でパソコンに転送したい画像を記憶する



転送

2. パソコン側にプリントしたい画像を取り込む

3. 付属のMGIフォトスイートまたは各種ソフト(別売)で文字入力などの編集をする

4. プリントする



パソコンへの画像取り込み

パソコンに画像を取り込んで画面上に表示します。

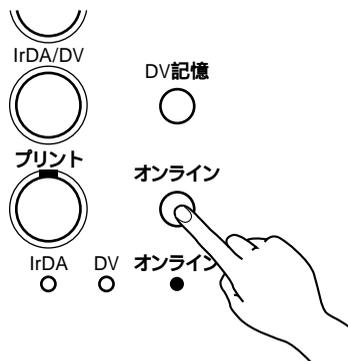
準備

デジタルビデオムービーやデジタルスチルカメラからあらかじめプリンターに画像を取り込んでおきます。

取り込み方法は「デジタルビデオムービーからプリントする」(22 ページ参照)または「デジタルスチルカメラからプリントする」(24 ページ参照)をご覧ください。

プリンターに画像の取り込みを完了すると、プリントランプが点灯します。

1. プリンターのオンラインボタンを押して、オンラインランプを点灯させる

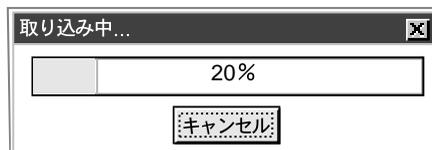


2. 画像を取り込む

キャプチャーソフトのメニューから [ファイル] - [画像取り込み] を選択し、プリンターからパソコンへ画像を転送します。

画像取り込み中は、プリンターのオンラインランプが点滅します。

DV接続で取り込まれた画像のみ、白い枠が付きます。



3. 取り込み終了

パソコン画面に取り込んだ画像を表示します。



パソコンに残したいときは、[ファイル] [名前を付けて保存] を選び、ハードディスクなどに保存してください。



パソコンからプリントする

準備

「パソコンへの画像取り込み」（左ページ参照）をご覧ください、パソコンに画像を取り込んでおきます。

1. 付属のMGIフォトスイートまたは市販のペイント系ソフトで文字などの編集をする

詳しくは、ソフトの取扱説明書をご覧ください。

2. プリンターのオンラインボタンを押して、オンラインランプを点灯させる

3. プリンターの設定をする

Windows®95をお使いの方
[ファイル(F)]メニューの[印刷(P)]を選択すると、印刷画面が出ますので、[JVC GV-DT1]を選択してください。
Windows®3.1をお使いの方
[ファイル(F)]メニューの[プリンターの設定(R)]を選択すると、プリンターの設定画面が出ますので、[JVC GV-DT1]を選択してください。



お使いのアプリケーションによっては、操作方法や表示内容が異なる場合がありますので、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

4. プリンターの設定画面（設定ダイアログ）を表示させる

Windows®95をお使いの方
印刷画面で[プロパティ(P)]をクリックすると、[設定ダイアログ]画面が出ます。（40ページ参照）

Windows®3.1をお使いの方
プリンターの設定画面で[オプション(O)]をクリックすると、[設定ダイアログ]画面が出ます。

（40ページ参照）
プリントの向き、プリント枚数、画質調整を設定してください。
設定後、[OK]ボタンをクリックすると、設定した内容に変更され、設定ダイアログ画面が閉じます。

5. プリントする

印刷画面で[OK]ボタンをクリックすると[スプーラ]画面が出ます。（41ページ参照）

プリンターへ印刷データを転送し、スプール表示バーが下がりきった状態になると、プリントを始めます。

注意：お使いのソフトによっては、正常にプリントできないことがあります。



プリンターのプリントボタンを押して印刷しているときは、パソコンからプリントの命令をしないでください。命令すると、正常な画像でプリントできません。



パソコンからプリントする(つづき)

設定ダイアログ画面の働き



1. 印刷の向き

プリントする向きを選択します。

縦：縦長の画像をプリントするときに選択します。

(最大：横480ドット×縦640ドット)

横：横長の画像をプリントするときに選択します。

(最大：横640ドット×縦480ドット)

2. プリント枚数

同一画面を連続プリントするときに設定します。1枚から25枚まで設定できます。

3. 画質調整

プリントの画質を変えたい場合に使います。

コントラスト(濃淡の設定)：

-5(最低)～+5(最高)まで調整できます。

明るさ：

-5(最低)～+5(最高)まで調整できます。

4. [OK]

今回の変更を有効にします。

5. [キャンセル]

今回の変更を無効にし、画面を閉じます。

6. [標準]

コントラスト、明るさの設定を標準にします。

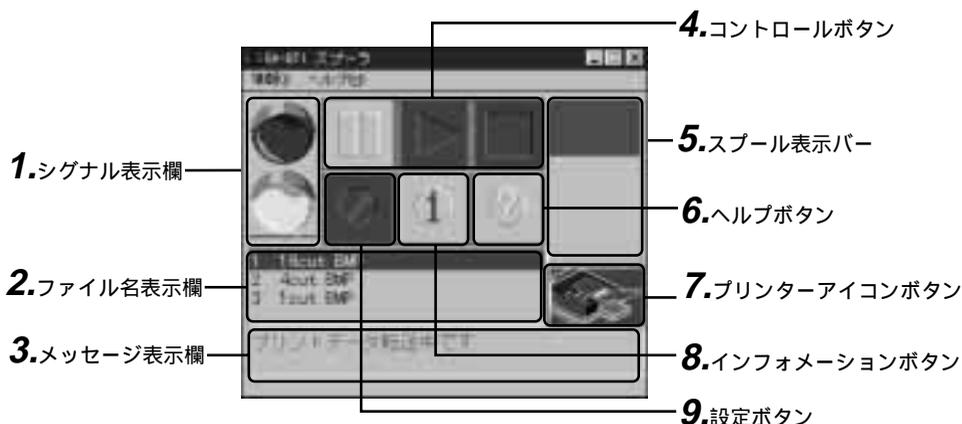
7. [ヘルプ]

ヘルプ画面を表示します。

8. バージョン

GV-DT1用プリンタードライバーのバージョンを表示します。

スプーラ画面の働き



1. シグナル表示欄

赤：印刷データ取り込みの一時停止状態
青：印刷データ取り込み状態

2. ファイル名表示欄

印刷の要求をしたファイル名（またはアプリケーション名）を表示します。

3. メッセージ表示欄

現在の状況を表示します。

4. コントロールボタン

- ：スプーラを一時停止できます。
- ：スプーラを再開します。
エラーメッセージを表示したときは、[閉じる]ボタンをクリックしたあと、再開ボタンをクリックします。
- ：スプーラの一時停止状態で、スプーラの削除をしたいときに押します。

5. スプール表示バー

パソコンからプリンターへのデータ転送表示です。バーが下がりきった状態で、プリントを始めます。

6. ヘルプボタン

スプーラ画面の働きについて説明しています。メニューバーのヘルプ(H)も同様です。

7. プリンターアイコンボタン

現在のプリンタの状況を表示します。詳しくは、ヘルプ画面をご覧ください。

8. インフォメーションボタン

スプーラのバージョンを表示します。

9. 設定ボタン

Windows®の使用状況に合わせ、スプーラの設定を変えることができます。

- ・スプーラ起動時の形状
- ・スプーラ起動時の状態
- ・スプーラの起動方法
- ・スプーラの終了方法

詳しくは、ヘルプ画面をご覧ください。



こんなときは

ランプ表示について

ランプ表示	このようなときに表示されます このように処置します	参照 ページ
<p>IrDA ● DV ● オンライン ○</p> <p>速く点滅</p> <p>プリント </p>	<p>インクが無いか、インクカセットが未装着です。 新しいものに交換するか、インクカセットを入れてください。</p>	<p>18</p>
<p>IrDA ○ DV ● オンライン ●</p> <p>速く点滅</p> <p>プリント </p>	<p>次のいずれかに該当します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 背面ドアが開いています。 背面ドアを閉じてください。 2) 排紙トレイが閉じています。 排紙トレイを開けてください。 3) 給紙トレイが未装着です。 プリントペーパーを入れ、給紙トレイを装着してください。 4) プリントペーパーが無いか、紙づまりです。 プリントペーパーを補給するか、つまったプリントペーパーを取り除いてください。 5) プリントペーパーとインクカセットの種類が合っていないときや、プリントペーパーの向きが違っています。 背面ドアを開け、つまっているプリントペーパーを取り除いてください。プリントペーパーとインクカセットを確認してください。 	<p>18 1 20 49</p>
<p>IrDA ○ DV ○ オンライン ○</p> <p>プリントランプ点滅中、 入力モードのいずれか 1つが点灯しています。</p> <p>プリント </p> <p>速く点滅</p>	<p>プリンター内部の温度が上昇しています。 また、プリント中でもプリントランプが速く点滅することがあります。 プリントランプの点滅が消えるまで、しばらくお待ちください。</p>	
<p>IrDA ● DV ○ オンライン ○</p> <p>点灯</p> <p>プリント </p>	<p>IrDAモードを選択しています。 ただし、画像は記憶されていません。</p>	<p>24</p>

ランプ表示	このようなときに表示されます このように処置します	参照 ページ
IrDA ● DV ○ オンライン ○ プリント  点滅	IrDAデータの受信をしています。	24 25
IrDA ● DV ○ オンライン ○ プリント  点滅 点灯	IrDAデータ変換中です。	24 25
IrDA ● DV ○ オンライン ○ プリント  点灯	IrDA受信によるプリントが終了しました。 プリント終了後、プリントボタンを押す度に、同じ画像を1枚ずつプリントできます。	24 25
IrDA ○ DV ● オンライン ○ プリント  点灯	DVモードを選択しています。 ただし、画像は記憶されていません。	22
IrDA ○ DV ● オンライン ○ プリント  点滅	DVデータの受信をしています。	22
IrDA ○ DV ● オンライン ○ プリント  点滅 点灯	DVデータ変換中です。	22 23



こんなときは(つづき)

ランプ表示	このようなときに表示されます このように処置します	参照 ページ
IrDA ○ DV ● オンライン ○ 点灯 プリント  点灯	DVデータの変換が終了しました。 プリントボタンを押すと、記憶した画像 をプリントできます。 プリント終了後、プリントボタンを押す 度に、同じ画像を1枚ずつプリントでき ます。	22 23
IrDA ○ DV ○ オンライン ● 点灯 プリント  点灯	パソコンからの画像データを受信できる 状態です。	38
IrDA ○ DV ○ オンライン ● 点滅 プリント  点灯	プリンターからパソコンへ画像データ を転送(キャプチャー)しています。	38
IrDA ○ DV ○ オンライン ● 点滅 プリント  点灯	パソコンから画像データを受信していま す。	38
IrDA ○ DV ○ オンライン ● 点灯 プリント  点灯	パソコンとの画像データの送受信が終了 しました。	38

デジタルプリンター編

こんなときは	ここをお調べください	参照 ページ
DV 接続で画像データが送れない	<p>プリンターが DV モードになっていますか。 IrDA / DV ボタンを押して、DV ランプを点灯させてください。</p> <p>コードは正しく接続されていますか。 接続の確認をしてください。</p> <p>DV テープに画像が記録されていますか。 画像の記憶されているテープをご使用ください。</p>	<p>16</p> <p>22</p>
DV 端子付きムービーからプリントしたらブレた画像になった	<p>DV 端子付きムービーは静止画再生状態になっていますか。 DV 端子付きムービーからプリンターに画像データを記憶させるときは、DV 端子付きムービーを静止画再生状態にします。</p>	<p>22</p>
IrDA 受信で画像データが送れない	<p>プリンターが IrDA モードになっていますか。 IrDA / DV ボタンを押して IrDA ランプを点灯させてください。</p> <p>正しい距離と角度で送信していますか。 プリンターの IrDA 受光部の正面に向け、約 50cm 以内で送信してください。使用する機器によっては、近すぎたり離しすぎると、データ通信ができないことがあります。</p>	<p>17</p> <p>24</p>



こんなときは(つづき)

画面上にこのようなメッセージが出てきたら

パソコンプリンター編

メッセージ内容	このようなときに表示されます このように処置します	参照 ページ
プリンター内部の温度が上がりすぎました。しばらくお待ちください。	プリンター内部の温度が設置環境や連続印刷などで高温になったときに表示します。 メッセージ表示が消えるまで、しばらくお待ちください。	-
インクカセットが入っていません。インクカセットを入れてドアを閉めてください。	インクカセットを取り付けていないか、インクカセットをきちんと挿入していないと表示します。 インクカセットを挿入し、ドアを閉めてください。	18
ペーパーがありません。ペーパーを入れてください。うしろのドアまたは排紙、給紙トレイを確認してください。	給紙トレイ内のペーパーが無くなったとき、背面ドアが開いているとき、排紙トレイが閉じているとき、給紙トレイが装着されていないときに表示します。 給紙トレイのペーパーの有無を確認し、上記の箇所の開閉、装着の状態を確認してください。	14 15 20
オフラインになっています。オンラインに切り替えてください。	プリンターのオンラインランプが消灯中に、パソコンからプリントや画像取り込み(キャプチャー)をすると表示します。 オンラインボタンを押してオンラインランプを点灯させてください。	38
ペーパーとインクカセットが合っていません。うしろのドアを開けて、ペーパーを取り除いてください。	プリントペーパーとインクカセットの種類が合っていないときや、プリントペーパーの向きが違っているときに表示します。 背面ドアを開け、つまっているプリントペーパーを取り除いてください。プリントペーパーとインクカセットを確認してください。	49 19
インクがなくなりました。インクカセットを交換しペーパーを確認してください。	インクカセットを使い切っていると表示します。 新しいものに交換してください。 インクカセットを使い切ったときは、給紙トレイをはずし、プリントペーパーがつまっていないか確認してください。プリントペーパーがつまっているときは、つまったプリントペーパーを給紙トレイに入れ、プリンターに装着してください。 プリントペーパーがインクカセットの種類と合っているか確認してください。	18 ? 20
ペーパーがつまりました。ペーパーを取り除いてください。	プリント中に、紙づまりが起きると表示します。 49 ページをご覧ください、プリントペーパーを取り除いてください。	49

画面上にこのようなメッセージが出てきたら

パソコンプリンター編

メッセージ内容	このようなときに表示されます このように処置します	参照 ページ
給紙トレイを抜いて、ペーパーを確認してください。	プリントペーパーがないときや、給紙できなかったときに表示します。 給紙トレイを取りはずし、プリントペーパーを正しく入れてください。	20
プリンターに予期しない異常が発生しました。プリント処理を中止します。	プリント中に、異常が発生したときに表示します。 電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、再び電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。この操作をしても同じ表示が出るときは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。	-
プリンターとの接続に失敗しました。プリンターとケーブルの状態を確認してください。	他のプリンターと接続されていたり、プリンターの電源が入っていない、またはケーブルが正しく接続されていないときに表示します。 正しく接続したあと、プリンターの電源を入れてください。	30
プリント中です。プリントが終了するまでしばらくお待ちください。	プリント中に他の操作をすると表示します。 プリント中は他の操作をしないでください。	-



こんなときは(つづき)

故障かな?と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

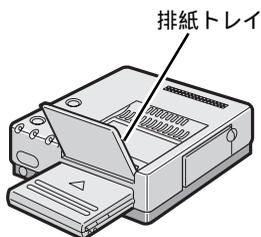
こんなときは	ここをお調べください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。	—
プリンターのランプが点灯(または点滅)している	42 ~ 44 ページの「ランプ表示について」をご覧ください。処置してください。処置しても直らないときは、一度電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、数分間お待ちください。その後、再び電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。	42 ? 44
紙づまりがおきた	紙づまりには、次のような原因があります。 ・ペーパーとインクカセットが合っていないとき ・ペーパーの向きが違っているとき ・官製はがき以外の市販のはがきを使用したとき ・プリンターを縦に置いたり、傾けて置いたとき 右ページをご覧ください。ペーパーを取り除いてください。	49
インクカセットを使い切ったとき	給紙トレイをはずし、プリントペーパーがつまっていないか確認してください。 プリントペーパーがつまっているときは、つまったプリントペーパーを給紙トレイに入れ、プリンターに装着してください。	20 49
ペーパーが2枚以上重なってプリントされた	ペーパーは1枚ずつはなれるように、よくさばいてから給紙トレイに入れてください。	20
記憶画像が消えてしまった	プリンターの電源を切ったり、IrDA/DVモードを切り換えると、記憶した画像は消えます。もう一度、記憶し直してください。	—
色がうすい、色が違う	モニター画面上の色と実際にプリントしたものではありません。多少色が異なる場合がありますが、故障ではありません。	—
引っ越し先でも使えるか	日本国内では大丈夫です。 海外では電源方式の違いなどでご使用になれません。	—
ビデオムービーと接続しているテレビ画面上の画像とプリントした画像が異なる	他のビデオムービーで録画したテープを再生したり、テープに傷がある部分やノイズのある部分で画像を記憶すると、正常にプリントできないことがあります。記憶する位置を少しずらしてください。 プリントしたい画像に特殊効果(ワイド、シネマなど)がかかっている場合は、正常にプリントできないことがあります。	—

紙づまりがおきたときは

- 1** 電源プラグをコンセントから抜いてください。

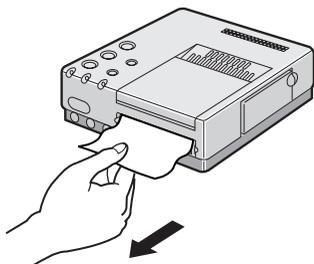
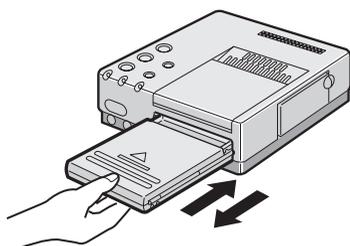
記憶した画面は消えます。

- 2** 排紙トレイから、つまっているペーパーを取り除く。



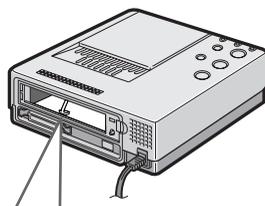
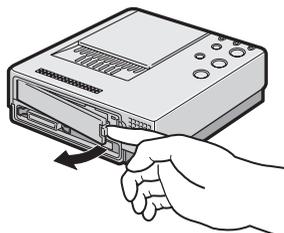
排紙トレイにペーパーがつまっていないときは

- 3** 給紙トレイを取りはずし、つまっているペーパーを取り除く。



- 給紙トレイ挿入口にもペーパーがつまっていないときは

- 4** 背面ドアを取りはずし、つまっているペーパーを取り除く。



- 5** つまったペーパーを取り除いたあとは、給紙トレイを挿入し、背面ドアを取り付けてください。

- 6** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

その他

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	004 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧 S.S.	(0144) 34-6682	053 苫小牧市緑町2-7-11
	室蘭 S.S.	(0143) 44-8168	050 室蘭市宮の森町3丁目13-13
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	070 旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	090 北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154) 24-0797	085 釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	080 帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 46-5324	041 函館市美原3-16-25
東北			
青森	青森 S.C.	(0177) 23-2261	030 青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	031 八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	036 弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	020 盛岡市津志田12地割字新田堰34番地1
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	023 水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(0188) 24-3189	010 秋田市山下中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	017 大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	013 横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	984 仙台市若林区六丁の西目町7-13
	石巻 S.S.	(0225) 94-7711	986 石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(0236) 42-0279	990 山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	998 酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(0249) 52-6331	963 郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 28-4991	970 いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松 S.S.	(0242) 32-0247	965 会津若松市滝沢町1-5
	福島 S.S.	(0245) 53-9437	960-01 福島市内本内字南原26-1
関信越			
新潟	新潟 S.C.	(025) 241-0527	950 新潟市明石1-2-19
	佐渡 S.S.	(0259) 57-3127	952-13 佐渡郡佐和田町河原日本町93
	長岡 S.C.	(0258) 24-1462	940 長岡市下条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255) 44-9987	942 上越市五智1-11
長野	松本 S.C.	(0263) 25-9353	390 松本市鎌田2-3-50
	長野 S.C.	(026) 221-9946	380 長野市川合新田962-1
	上田 S.S.	(0268) 23-3589	386 上田市古里79-1
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5920	371 前橋市大渡町11-19-1
群馬	宇都宮 S.C.	(028) 635-2656	320 宇都宮市住吉町17-9
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1531	310 水戸市元吉田町1077
	土浦 S.S.	(0298) 22-5946	300 土浦市真鍋6-1-25
山梨	甲府 S.S.	(0552) 37-3136	400 甲府市湯田2-11-5
千葉			
千葉北	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113 東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	261 千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.S.	(0471) 75-4322	277 柏市豊四季512-10-67
浦安 S.S.	(047) 353-6189	279 浦安市当代島2-13-27	
千葉南	【サービス関連全て】のご相談窓口		
	木更津 S.S.	(0438) 36-6413	292 木更津市真船5-4-9

都府県名	拠点名	TEL	所在地
東京			
【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
本郷 S.C.	(03) 5684-8254	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
秋葉原 S.S.	(03) 3251-2128	101	東京都千代田区外神田1-6-6
練馬 S.C.	(03) 3993-7520	176	東京都練馬区豊玉南1-19-1
大田 S.C.	(03) 3727-9385	145	東京都大田区北千束2-20-6
浦安 S.S.	(047) 353-6189	279	浦安市当代島2-13-27
八王子 S.C.	(0426) 46-6914	192	東京都八王子市大和田町2-9-6
【業務用機器専門】のご相談窓口			
東京業務センター	(03) 3874-5231	110	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉			
【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
大宮 S.C.	(048) 654-5241	330	大宮市東大成町2-658-1
熊谷 S.S.	(0485) 53-5105	361	川崎市城西2-7-39ツインハイツ山北
川越 S.S.	(0492) 42-4496	350	川崎市小室49-1
神奈川			
【出張修理専門】のご相談窓口			
首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F
【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
横浜 S.C.	(045) 651-0403	231	横浜市中区鶴町1-1-3-1
横須賀 S.C.	(0468) 34-9261	239	横須賀市七里浜6-4-1
川崎 S.C.	(044) 975-1879	216	川崎市宮前区南平3-2(第二石原ビル)
平塚 S.C.	(0463) 23-2687	254	平塚市若松町4-9(木村ビル)
小田原 S.S.	(0465) 24-0681	250	小田原市浜町4-1-12
相模原 S.C.	(0427) 76-2052	229	相模原市吉瀬3-7-4
静岡			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	422 静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559) 22-1557	410 沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	435 浜松市北島町785
東海・北陸			
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	481 西春日井郡西春日町9/呼鴨田121-1
	三河 S.S.	(0564) 26-1005	444 岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	440 豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.C.	(058) 274-1947	500 岐阜市宇佐南3-1-28
	三重 S.S.	(0593) 52-0841	510 四日市市堀本2-15-2
三重	津 S.S.	(0592) 29-7780	514 津市大字藤方485-18
	富山 S.C.	(0764) 25-2397	930 富山市総曲輪4-3-5
石川	金沢 S.C.	(0762) 31-5242	920 金沢市長土堀2-1-27
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	910 福井市西開野3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀 S.S.	(0775)82-5812	524	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
京 都 S.C.	(075)313-3189	600	京都市下京区七条御所の内北町91	
京 都 北 部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620	福知山市厚東町145-2
奈 良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
奈 良 S.S.	(07442)4-6271	634	橿原市葛本町834-2	
大 阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	大 阪 S.C.	(06)768-5489	543	大阪市天王寺区小橋町10-16
堺 S.C.	(0722)54-2881	591	堺市百古鳥梅町3丁目2-1伊助ハイツ	
【業務用機器専門】のご相談窓口				
業 務 機 器 C	(06)304-6715	532	大阪市淀川区田川12-4-28	
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山 S.S.	(0734)72-6799	640	和歌山市太田430-8
田 辺 S.S.	(0739)22-9914	646	田辺市文里1-19-18	
兵 庫 部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大 阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川12-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
神 戸 S.C.	(078)252-0562	651	神戸市中央区磯上通3-2-16	
明 石 S.S.	(078)924-1104	673	明石市西明石北町3-12-9小西ビルF	
兵 庫 西 部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
姫 路 S.S.	(0792)34-3833	670	姫路市中地南町11-1	

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
中 国				
岡 山	岡 山 S.C.	(086)243-1566	700	岡山市西古松西町8-23
広 島	広 島 S.C.	(082)243-9839	730	広島市中区光南3-9-17
	福 山 S.S.	(0849)31-6984	721	福山市南蔵王町3-5-15
山 口	呉 S.S.	(0823)74-9364	737	呉市吉新開2-17-32-102
	山 口 S.C.	(0839)73-3708	754	吉敷郡小郡町花園町5-28
山 口	徳 山 S.S.	(0834)27-1331	745	徳山市野上町2-35
	下 関 S.C.	(0832)51-1040	751	下関市熊野町2-14-23
四 国				
香 川	高 松 S.C.	(0878)66-1200	761	高松市田村町205-1
徳 島	徳 島 S.C.	(0886)22-7387	770	徳島市沖浜2-37
高 知	高 知 S.S.	(0888)82-0546	780	高知市高須新町4-143
愛 媛	松 山 S.C.	(0899)23-0372	791	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792	新居浜市松神子2-2-25
九 州・沖 縄				
福 岡	福 岡 S.C.	(092)431-1261	812-91	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久 留 米 S.C.	(0942)39-3495	830	久留米市西町字神浦1-1192
	北 九 州 S.C.	(093)921-3981	802	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	筑 豊 S.S.	(0948)29-1146	820	飯塚市片島2-22-27
佐 賀	佐 賀 S.S.	(0952)26-8785	840	佐賀市本庄町大字袋265-1
長 崎	長 崎 S.C.	(0958)62-5522	852	長崎市城山町9-13
	佐 世 保 S.S.	(0956)33-5568	857-11	佐世保市木風町1467-2
大 分	大 分 S.S.	(0975)43-1422	870	大分市大道町4-1-2
熊 本	熊 本 S.C.	(096)353-4536	861-41	熊本市近見町1218-1
宮 崎	宮 崎 S.S.	(0985)24-5401	880	宮崎市霧島町3-59
	延 延 岡 S.S.	(0982)35-7077	882	延岡市惣領町24-3
鹿 兒 島	鹿 兒 島 S.C.	(099)267-3572	891-01	鹿児島市小松原2-23-28
沖 縄	沖 縄 S.C.	(098)898-3631	901-22	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山 陰				
鳥 取	山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当)	(0852)31-8900	690	松江市西川津町1484-3
	出張営業所サービス係	(0853)21-4611	693	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697	浜田市長沢町671-1
鳥 取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680	鳥取市富安2-45

海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

北米・ハワイ

カナダ JVC CANADA INC.

・ ト ロ ン ト 【416-293-1311】
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA

・ ア ト ラ ン タ 【770-339-2522】
1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5857

・ サ ン フ ラ ン シ ス コ 【415-871-2666】
890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804

・ シ カ ゴ 【630-851-7855】
705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149

・ ニ ュ ー ジャ ー ジ 【973-808-9279】
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105

・ ヒ ュ ス ト ン 【713-935-9331】
10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043

・ ボ ス ト ン 【508-881-5923】
230 Eliot Street, Ashland, MA 01721-2377

・ ホ ノ ル ル 【808-833-5828】
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

・ マ イ ア ミ 【954-472-1960】
8192 State Road 84, Davie FL 33324

・ ロ サ ン ジ ェ ル ス 【714-229-8011】
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024

・ ハ リ ウ ョ ッ ド 【310-659-5262】
8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでの前に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113	東京都文京区本郷3-14-7	ビクター本郷ビル
	(06)765-4161	543	大阪市天王寺区小橋町10-16	大阪ビクタービル

主な仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
消費電力	プリント時 : 約 65 W, 1.0 A 電源「切」時 : 約 4 W
プリント方式	昇華性染料熱転写ラインプリント方式
印画サイズ	最大 112 × 84 mm
用紙サイズ	144 × 100 mm
画素数	640 (水平) ドット × 480 (垂直) ライン
解像度	144 dpi
階調数	256 階調
プリント時間 (画像データの転送 や処理時間を含ん でいません)	専用紙 : 約 90 秒 官製はがき : 約 120 秒
入出力端子	DV 入力 : DV 端子 IrDA 入力 : 赤外線受光部 (IrDA Ver1.0 対応 IrTran-P 準拠) パラレル : アンフェノール 36 ピン
許容動作温度	+ 5 ~ 35
許容相対湿度	35 ~ 80 %
許容保存温度	- 20 ~ + 60
設置条件	動作姿勢水平 ± 5 °
外形寸法	幅 213 × 高さ 90 × 奥行 213 mm
質量	約 2.3 kg (給紙トレイ含む)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
このプリンターは日本国内のみ使用できます。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This Printer is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

保証とアフターサービス

ソフトウェアの扱いにつきましては、ソフトウェア製品使用許諾契約書に従います。

保証書(別途添付しています)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プリンターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」(50 - 51 ページ)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

42 - 49 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびインクカセットなどの不具合により、正常にプリントできなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルプリンター
型名	GV-DT1
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	() -

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検

長年ご使用のプリンターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

映像が乱れたり、きれいに映らない。
電源プラグ、コードが異常に熱い。
異常な臭いや音がある。
水や異物が入った。
その他の異常な故障がある。



ご使用中を中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をプリントしていただくために

プリンターは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなりますので、定期的に点検整備されることをおすすめいたします。

その他



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



故障かな?と思ったら

修理に出す前に **42** ~ **49** ページをご確認ください。

修理についてのご相談は

「お買い上げ販売店」へご相談ください。
ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼
になれない場合は、**53** ページの「保証とアフターサービス」
をお読みの上、**50** ~ **51** ページの「ピクチャーサービス
窓口」にご相談ください。

お買物相談

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様
ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京

☎ (03)5684-9311

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ピクチャー本郷ビル

大 阪

☎ (06)765-4161

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ピクチャービル

付属のMGIフォトスイート

に関してのお問い合わせ先

MGIユーザーサポートセンター
(日本国内技術サポート窓口)

☎ (03)3320-6821

FAX番号 (03)3320-2742

(土日祝祭日を除く 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00)

〒151 東京都渋谷区笹塚 2-27-5 ST.SASAZUKAビル3F



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550